

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月15日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	補機冷却海水系ポンプ(C)において、他作業との調整の結果、2022年1月の点検期限を超過することが認められたため、社内マニュアルに基づき点検期限延長の妥当性評価を行い2022年3月まで延長。	G III	12月9日
2	3号機	原子炉補機冷却系第二中間ループ熱交換器(B)において、渦流探傷検査により3080本の伝熱管のうち4本の減肉率が50%以上であることが認められたため、当該伝熱管を閉止。なお、当該熱交換器は伝熱管閉止をこれまで23本実施しているが、許容される閉止は154本であることから、今回4本閉止しても熱交換器の性能に影響はない。	G III	12月10日